

☆牛小ギネス大会

7月7日（火）に牛小ギネス大会を行いました。6年生と5年生が中心となって運営をして、合計10のチャレンジ種目を用意しました。6年生と5年生は、A・Bのグループに分かれ、半分の時間は運営に、もう半分の時間はギネスにチャレンジしました。あとの子どもたちは、ペア学年で校舎をまわって、楽しく挑戦する姿がたくさん見られました。

☆はじめの会



最初に全校児童が体育館に集まり、みんなが楽しく過ごすための約束を確認しました。会が終わるとすぐに教室に向かうペア、慎重にどこに行くか決めるペアなど様々いました。

☆ボウリング



種目「ボウリング」では、サッカー日本代表菅原由勢選手から寄贈いただいた（昨年度）サッカーボールを使っていました。ペットボトルで作ったピンを倒そうと多くの子どもたちが挑戦をしていました。

☆空き缶積



空き缶積では、真剣な面持ちで、挑戦する子どもが多く見られました。一瞬のミスで倒れてしまうということで、缶と

缶の重なり具合をしっかりと確認していました。

☆ギネス大会への準備を通して



ギネス大会の準備にあたって、看板やゲームに使うカード、説明など、多くの準備をしました。高学年が企画や運営に携わることで、高学年としての意識を高めるよい機会となりました。また、全校で1つの行事に取り組み、楽しむ時間をつくることで、牛久保小学校の生活がより楽しいと思えるきっかけとなることを願っています。

☆タブレットを利用した学習

GIGAスクール構想第2期がスタートし、学校で使用するタブレットが新しくなりました。各学年で、タブレットを持ち帰る日もあります。一人一台の学習用端末の配付によって、大きく変わったことを1つ紹介します。

大きな利点の1つは、協働的な学びが容易になることです。これまでは、授業の発表の場面では、一人一人が画用紙にマジックで書いた考えを黒板に貼ったり、席を移動して友達の意見を見に行ったりしました。そのためよく見えなかったり全員の考えを確認しにくかったりしました。しかし、一人一人がタブレットの学習活動支援システムに入力するだけで、自分の席でクラス全員の意見をしっかりと見て、自分の考えと比べたり考え直したりすることができるようになりました。子どもが考えを深めやすくなるとても大きな変化が起きています。